



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月10日
上場取引所 東

上場会社名 乾汽船株式会社
コード番号 9308 URL <http://www.inui.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 乾 康之
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務・経理担当 (氏名) 加藤 貴子 TEL 03-5548-8613
四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	13,295	67.7	5,861	146.9	6,465	168.6	4,465	104.2
2022年3月期第1四半期	7,928	84.8	2,374	—	2,407	—	2,187	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 4,498百万円 (118.8%) 2022年3月期第1四半期 2,055百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	178.52	—
2022年3月期第1四半期	87.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	65,571	28,926	44.1	1,156.29
2022年3月期	66,137	29,882	45.2	1,194.49

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 28,926百万円 2022年3月期 29,882百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	6.00	—	218.00	224.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	6.00	—	171.00	177.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	26,540	55.3	10,341	79.6	10,890	87.5	7,502	46.7	299.88
通期	45,465	20.9	13,308	△0.4	13,778	1.7	9,476	△20.0	378.78

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	26,072,960株	2022年3月期	26,072,960株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,056,100株	2022年3月期	1,056,058株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	25,016,895株	2022年3月期1Q	24,980,110株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、外航海運事業における好調なハンディ船市況や為替の影響等により、売上高は前年同期比5,367百万円増収(+67.7%)の13,295百万円、営業利益は前年同期比3,487百万円増益(+146.9%)の5,861百万円、経常利益は前年同期比4,058百万円増益(+168.6%)の6,465百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比2,278百万円増益(+104.2%)の4,465百万円となりました。

当社グループのセグメント別の業績は以下のとおりであります。

①外航海運事業(ロジスティクス)

外航海運事業におけるハンディ船市況は、昨年度から続く堅調な輸送需要と新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に起因した船舶の供給不足等により、損益分岐点を上回る水準で推移いたしました。

このような状況下、当社グループの外航海運事業におきましては、好調なハンディ船市況により、売上高は前年同期比5,341百万円増収(+93.5%)の11,055百万円、セグメント利益は前年同期比3,591百万円増益(+176.6%)の5,625百万円となりました。

②倉庫・運送事業(ロジスティクス)

物流業界におきましては、貨物保管残高及び貨物取扱量は前年同期と概ね同水準で推移いたしました。

このような状況下、当社グループの倉庫・運送事業におきましては、連結子会社の引越業において、新型コロナウイルスの感染拡大により需要の低迷が継続しておりますが、事務所移転の取扱高の持ち直しにより、売上高は前年同期比28百万円増収(+2.6%)の1,110百万円、セグメント利益は前年同期比34百万円増益(+305.7%)の45百万円となりました。

③不動産事業

都心部の賃貸オフィスビル市況は、低水準で推移しておりました空室率が上昇しており、今後も、新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけとしたテレワークの普及により、オフィス需要の鈍化が懸念されます。その一方で、東京23区の賃貸マンション市況については引き続き堅調に推移しております。

このような状況下、当社グループの不動産事業におきましては、既存賃貸物件は概ね安定して高稼働を維持しておりますが、シェア型企業寮である月島荘はその特性から稼働率が低下しており、売上高は前年同期比3百万円減収(Δ 0.3%)の1,128百万円、セグメント利益は前年同期比13百万円減益(Δ 2.1%)の596百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金の減少等により前連結会計年度末比565百万円減の65,571百万円となりました。負債は、流動負債のその他に含まれる預り金や未払金の増加等により前連結会計年度末比389百万円増の36,644百万円となりました。純資産は、利益剰余金の減少等により前連結会計年度末比955百万円減の28,926百万円となりました。

この結果、自己資本比率は45.2%から44.1%になりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して1,265百万円減少し、18,969百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における営業活動の結果として得られた資金は、2,974百万円（前年同期比3.0%減）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益6,465百万円、法人税等の支払額2,440百万円等によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における投資活動の結果として使用した資金は、153百万円（前年同期比65.2%減）となりました。これは主として、固定資産の取得による支出等によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における財務活動の結果として使用した資金は、4,965百万円（前年同期比823.1%増）となりました。これは主として、配当金の支払額等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期（2023年3月期）の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の実績及び最近の業績動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表した前回発表予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「2023年3月期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、外航海運事業における為替、燃料油価格の予想前提は以下のとおりです。

	当四半期連結累計期間実績 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	第2～4四半期前提 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
為替レート (円/1米ドル)	125.48	137.00
燃料油価格 (米ドル/MT)	693.07	777.73

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,391	19,194
営業未収金及び契約資産	1,782	2,415
繰延及び前払費用	587	587
貯蔵品	1,153	1,899
その他	1,671	2,086
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	25,585	26,183
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	18,872	18,306
建物及び構築物（純額）	10,726	10,596
土地	1,133	1,133
信託建物及び信託構築物（純額）	3,558	3,523
信託土地	204	204
建設仮勘定	282	404
その他（純額）	850	812
有形固定資産合計	35,629	34,982
無形固定資産	179	165
投資その他の資産		
投資有価証券	3,602	3,648
その他	1,148	600
貸倒引当金	△8	△9
投資その他の資産合計	4,743	4,240
固定資産合計	40,551	39,388
資産合計	66,137	65,571

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,568	2,946
短期借入金	2,710	2,710
1年内返済予定の長期借入金	4,303	4,895
未払法人税等	2,651	1,220
賞与引当金	83	27
その他	1,166	2,084
流動負債合計	13,483	13,883
固定負債		
長期借入金	20,076	19,654
退職給付に係る負債	74	79
受入保証金	1,441	1,444
長期前受収益	536	536
特別修繕引当金	575	639
その他	66	407
固定負債合計	22,771	22,761
負債合計	36,254	36,644
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,767	2,767
資本剰余金	11,624	11,624
利益剰余金	15,849	14,861
自己株式	△1,032	△1,032
株主資本合計	29,209	28,221
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	554	581
繰延ヘッジ損益	118	123
その他の包括利益累計額合計	673	705
純資産合計	29,882	28,926
負債純資産合計	66,137	65,571

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	7,928	13,295
売上原価	5,148	6,894
売上総利益	2,779	6,400
販売費及び一般管理費	405	538
営業利益	2,374	5,861
営業外収益		
受取配当金	43	50
為替差益	37	598
その他	17	32
営業外収益合計	99	681
営業外費用		
支払利息	63	69
その他	2	7
営業外費用合計	66	77
経常利益	2,407	6,465
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	5	—
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	5	0
税金等調整前四半期純利益	2,402	6,465
法人税、住民税及び事業税	447	1,135
法人税等調整額	△233	863
法人税等合計	214	1,999
四半期純利益	2,187	4,465
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,187	4,465

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	2,187	4,465
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△123	26
繰延ヘッジ損益	△7	5
その他の包括利益合計	△131	32
四半期包括利益	2,055	4,498
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,055	4,498
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,402	6,465
減価償却費	834	802
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△0	4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△54	△55
特別修繕引当金の増減額 (△は減少)	16	63
受取利息及び受取配当金	△44	△71
支払利息	63	69
為替差損益 (△は益)	△5	△219
固定資産売却損益 (△は益)	4	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	357	△502
契約資産の増減額 (△は増加)	△501	△130
繰延及び前払費用の増減額 (△は増加)	70	15
貯蔵品の増減額 (△は増加)	△117	△745
仕入債務の増減額 (△は減少)	△59	370
契約負債の増減額 (△は減少)	254	△168
未払費用の増減額 (△は減少)	32	4
未払又は未収消費税等の増減額	13	△3
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	△17	2
その他	△146	△484
小計	3,100	5,416
利息及び配当金の受取額	45	71
利息の支払額	△64	△72
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△15	△2,440
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,066	2,974
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△471	△152
固定資産の売却による収入	—	0
その他	32	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△439	△153
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	721
長期借入金の返済による支出	△464	△1,210
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△62	△4,471
その他	△10	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△537	△4,965
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	878
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,084	△1,265
現金及び現金同等物の期首残高	7,137	20,235
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,221	18,969

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ロジスティクス		不動産 事業	計		
	外航海運 事業	倉庫・運送 事業				
売上高						
外部顧客への売上高	5,714	1,082	1,131	7,928	—	7,928
セグメント間の売上高又は振替高	—	—	7	7	△7	—
計	5,714	1,082	1,139	7,935	△7	7,928
セグメント利益	2,033	11	609	2,653	△279	2,374

(注) 1. セグメント利益の調整額△279百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△279百万円であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ロジスティクス		不動産 事業	計		
	外航海運 事業	倉庫・運送 事業				
売上高						
外部顧客への売上高	11,055	1,110	1,128	13,295	—	13,295
セグメント間の売上高又は振替高	—	—	7	7	△7	—
計	11,055	1,110	1,136	13,302	△7	13,295
セグメント利益	5,625	45	596	6,266	△405	5,861

(注) 1. セグメント利益の調整額△405百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△405百万円であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。